

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	一宮高校の廃校により、高校生のヘルパー2級資格を兼ねたボランティア訪問がなくなったことは残念です。これに代わるべき取り組みが出来ないか、幅広く検討されることを期待します。	新たな学校関係などの交流を積極的に取り組む為にも担当者より良い関係作りを築き、地域参加活動の場を広げる。	保育所 小学校 地域の行事などに積極的に交流(運動会 学習発表会)ができるようにする。地域の一員として取り組んで行きたい。	6ヶ月
2	40	時には市販のものを上手に取り入れて食事作りの時間の短縮を図り、外出を兼ねた外食の回数を増やす事などにより、食事に重点を置いた事業所運営と職員に業務量のバランスを配慮した取り組みを希望します。	食事の一連の作業を利用者と共に職員が行う事を基本とし、前向きに改善していく。	嗜好や栄養のバランスを崩さず、献立(外食等含む)の見直しをする。行事食等は市販の物を上手に使い目新しいもので刺激をもらったりする。他の業務に支障をきたすことのないよう又料理作りがスムーズに行えるように改善していく。	3ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

5						ヶ月
---	--	--	--	--	--	----

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。